



花園大学



同窓会通信



CONTENTS

- 大学ニュース ..... 2
- 同窓会ニュース ..... 6
- 「お元気ですか」 ..... 7
- 部活紹介 ..... 8

## 学長ご挨拶

学長 磯田 文雄

日頃、花園大学の教育研究の充実発展のためにご支援いただきありがとうございますことを厚くお礼申し上げます。ようやく昨年5月8日にはコロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行しました。現在では、学生は、コロナとインフルエンザ両方を警戒しながら学生生活を送っています。

さて、現在、我が国の大学の最大の課題は18歳人口減少への対応です。この話題については、2021年9月発行の同窓会通信103号でご説明させていただいたところですが、現状について報告させていただきます。

これまで日本の大学は、短大の大学への転換と絶えざる大学・短大進学率の上昇により、大学・短大の学生数総数が約300万人前後で推移してきました。これが、日本の私立大学が18歳人口の急激な減少にもかかわらずつぶれなかった理由の一つです。

次に、18歳人口が平成21（2009）年に121万人になって以降、120万人前後で推移してきたのも二つ目の要因です。この18歳人口の減少が止まった平成21年頃から令和2（2020）年頃までの間を私は「失われた第三次ベビーブーム」と称しています。第二次ベビーブームの世代の子どもという増加要因が晩婚化と少子化で打ち消され、第三次ベビーブームが表面化しなかったのです。

しかし、18歳人口は、令和3（2021）年114万人（前年比▲3万人）、令和4（2022）年112万人（前年比▲2万人）、令和5（2023）年109万人（前年比▲3万人）と減少しました。現在、各大学では令和6（2024）年度入学者の選抜を行っていますが、各大学の関係者から聞こえてくる話は、苦しい、苦しいというものばかりです。

本学も懸命の努力を続けています。どうか引き続きのご支援をよろしくお願いします。

次に、令和5（2023）年8月26日大学コンソーシアム京都で、本学として「地域人材の高度化」を提案させていただきました。政治学者の佐々木毅先生が次のようにおっしゃっています。

「日本社会が将来的にどうなるかという疑問にグローバル化が直ちに答えを与えるわけではない。世界のどこでも通用し、活躍する人材に求められるのはコストに敏感であることであり、地域へのこだわりは決してプラスの意味を持たない。従って、彼らは究極的には社会的に見て「根無し草」であり得る。他方、どの社会も個性と歴史を持ち、地域に根を生やしている以上、「根無し草」ばかりを集めても社会をつくることができない。社会と地域の将来を慮り、多くの人々を糾合して新しい姿を描き、実践していく人材には何よりも地域性へのこだわりが必要である。専門性の高い政治や行政、地域経済の担い手なしに社会の再生産は不可能である。」

このような基本理念のもとに、花園大学は、地域人材の高度化に取り組んでいます。かつて、寺山修司が「書をすてよ、街に出よう」といいました。京都は歴史、文化、社会福祉、市民活動の宝庫です。学生達には街に出かけ、思う存分学んでいただきたい。



## 前期学位記授与式

9月29日(金)の18:00、本学教堂ホールにて、2023年度前期学位記授与式が挙行されました。

卒業生は学部生14名。磯田文雄学長から一人ひとりに学位記が手渡されました。学長式辞では「私は人を信じます。特に若者の力を信じています。皆さん、苦難を恐れず、際限のない社会の「大海」へ漕ぎ出してってください。」と述べられました。引き続き、山本清文文学部長、福富昌城社会福祉学部長が巣立つ卒業生に向けての言葉を贈られました。

式終了後、卒業生は栗原正雄学園長と学長を囲んで、記念撮影をしました。



## 大学摂心

後期授業終了後の12月26日(火)、27日(水)の2日間にわたり、大学摂心を実施しました。初日は学内の禅堂での坐禅と横田総長の法話を拝聴しました。翌日は学外に出向き、大本山妙心寺の大方丈での坐禅と諸堂拝観を行いました。約30名の学生・教職員の参加があり、充実した時間を過ごすことができました。また、初日の坐禅終了後には、横田総長と摂心に参加した学生との交流会があり、学生には総長と直接話せる貴重な機会となりました。



## 第37回 花園大学人権週間報告

2023年度の人権週間を以下のとおり開催しましたので報告をいたします。12月4日の前夜祭では映画『ぼくたちの哲学教室』を上映しました。翌5日からは、藤尾まさよさん(崇仁発信実行委員会代表)「このまちが好きだから～被差別の歴史をもつ地域に生まれて～」、石崎立矢さん(京都新聞社 メディア局 読者交流センター長)「メディアから考える『多様性』—新聞の伝え方、出来事にツッコもう!—」、三輪晃義さん(弁護士)「同性婚に関する訴訟とLGBTQを取り巻く近時の状況」の3本の講演会を開催しました。

昨年度にはロシアによるウクライナ侵攻が、そして今年度はイスラエルとガザとの問題が大きくクローズアップされている中、人権週間が開催されました。それだけでなく、ミャンマーや香港における問題など、世界には解決できない問題が山積みです。そのような中で、私たちに何ができるのか。まずはこれまでの歴史を学ぶこと。今ある現実を知り、目を向けること。さまざまな考え方、立場を受け入れ、対話をする。そして、私たち一人ひとりが考えること、考え続けること。解決困難な大きな問題を前にすると足がすくみ、思考停止してしまいがちですが、一步一步、歩みを止めないことが重要だと思います。特に、これから社会にでる学生たちの学びの場である大学においては、自分や社会の在り方を思索する、そのような活動を続けていかなければと、お話を伺って気持ちを新たにしました。



## 学園祭

花園大学学園祭「京花祭」にご来場いただきありがとうございました。

昨年度に引き続き今年度も多くの方々からご支援をいただき、無事終わることができました。

今年度の京花祭は坐禅体験など花園大学の特徴を活かした企画に加え、ウォークラリーを実施しました。ウォークラリーのクイズを通して花園大学や禅に関することを少しでも来場者の皆様を知っていただけたのではないかと思います。

また、露店では今年も学内のクラブ・サークル・職員の出店、学外からカレーライスやクレープなどの販売、無料でのハンドマッサージ体験があり活気が溢れ、盛り上がっていました。

ステージでは1日目の書道部パフォーマンスから始まり、初参加の洛陽総合高校ダンス部、地下アイドルの皆様の参加があり、2日目の抽選会まで14組の方々に盛り上げていただきました。

トークショーでは声優の土岐隼一さんをお迎えし、京都ならではの企画やプレゼント企画を通して楽しんでいただきました。

今年度は昨年の結果から周囲の期待も大きく、学生会「喫茶去」としての初めての企画・運営ということもあり、不安があるなか無事開催することができたことは学生会メンバー全員の大きな自信になりました。

最後になりましたが、京花祭開催にあたりご協力をいただいた学生団体、教職員、協賛企業、地域住民の皆様に心より感謝申し上げます。

花園大学学生会「喫茶去」 舛木駿介



## 進路サポート課

### 進路サポート課は、学生自身が、自分で考えて行動し、納得のいく進路選択することを目標に、1・2回生からしっかりサポートします。

2023年度から、「就職課」は「進路サポート課」に名称変更しました。卒業年次になってからの就職支援だけでなく、入学から卒業までのすべての在学期間中、一人一人の「進路」をしっかりサポートすること。この名称には、このような意味があります。

企業・団体での就業体験ができる基礎教育科目「インターンシップ・職業体験プログラム」は、進路サポート課が協働で実施しており、1回生から受講可能です。

また、1・2回生必修科目「学びのナビゲーション」とも連携しています。1回生の「大学入門」では、進路サポートシステム「花☆サポ」(※)への初期登録をしてもらい、まずは進路を考えるスタートラインとしています。2回生の「進路を考える」では、進路サポート課が講義15回中2回分を担当し、いよいよ本格的にスタートする3回生からの就職活動スケジュールや具体的なサポート内容の説明に加え、企業・団体の方をゲストにお招きし、講演いただいています。

2025年3月卒の学生にとって本格的な就職活動開始直前となる2月には、就活サポート講座と就職説明会を開催し、就活の流れやマナー、履歴書の書き方、求人情報の見方などの基本的な内容の講座に加え、本学と連携しているサポート機関や各業界の企業・団体を迎え、サポート概要紹介や業界・企業研究会を開催しました。さらに、オンラインでの説明会・面接を想定した対策講座も開催しました。4月以降は、進路就職状況調査を行い、電話での個別サポートや、ゼミ担当教員と連携した個別対応をメインにサポートを続けます。

#### ※「花☆サポ」:

スマートフォンやパソコンから、求人やインターンシップの検索、個別相談・支援講座参加の予約、各マナーシートのダウンロード、就活準備動画閲覧など、就職活動に必須のシステムです。



## 地域連携教育センター

### 「第二回 京都絵本フェスティバル in 花園大学2023」が、花園大学自適館において開催されました。

絵本の読み聞かせを通じて、子ども(と大人)の心を育むとともに、大学と地域(京都市、近隣地域)とのつながり、絵本に関する活動をしている個人・団体のつながりを強化することを目的に、昨年からスタートしました。本学が採択された「「学まち連携大学」促進事業」の一環として行われております。

京都市内外から、読み聞かせ活動を行う個人・団体6組16名が読み手として参加し、150名以上の来場者を迎え、たいへん盛況でした。一般的な絵本の読み聞かせ



のほかに、わらべうたや英語の読み聞かせをするコーナーもありました。本学総長の横田南嶺老師の絵本『パンダはどこにいる?』の読み聞かせもありました。

会場の一角には自由に絵本を読むことができるスペースも設置され、教員の指導のもと、児童福祉学科の学生が、子どもたちのサポートをしていました。

## 令和5年度 佐賀県支部総会報告

去る11月7日、午後6時より佐賀県唐津市のホテルメルキュール佐賀唐津リゾート（旧ロイヤルホテル）に於いて花園大学より事務局長の山崎様、同窓会事務局より坂ノ下様をお迎えし、県内より13名の同窓生の参加を得て花園大学同窓会佐賀県支部総会が開催されました。

毎年開催しておりました支部総会ですがコロナ禍で3回見送りましたので久しぶりの開催となりました。

会中は会員より忌憚のない意見、質問等があり有意義な総会になりました。大学からは現状報告等があり丁寧にご説明いただきました。

総会後の懇親会では久しぶりの総会ということもあり積もる話に花が咲き盛会のうちにおひらきとなりました。

ふくこうむねたか  
事務局 福郷 宗隆



## 令和5年度 兵庫西総会報告

令和5年12月4日（月）ユニットピアささやまにて令和5年度花園大学同窓会兵庫西支部の総会を開催しました。

会員11名の参加と、大学より福富昌城社会福祉学部長、坂ノ下祐大総務課主任のご臨席を賜りました。正木竜哉副支部長の司会により、田中金作支部長よりご挨拶の後、新役員の承認、会計報告、コロナ過での活動報告などの議事が滞りなく終了しました。

その後、大学より近況報告があり、それを受けて今後の支部のあり方、大学への要望等、意見交換がされました。

総会后、親睦会が行われ、懐かしい話や最近の生活についても和やかに話しができ、有意義な時を過ごすことができました。

又、今総会において、12年間務めていただいた田中金作支部長がご退任となりました。長きに渡りありがとうございました。

おちひろあき  
兵庫西支部 越智 宏明





いつも同窓会通信を届けて下さりまして、ありがとうございます。

時は流れても、若く輝いていた頃に過ごした大切な母校の存在は、何者にも変える事ができません。私は卒業してから福祉の世界で長く勤め、もっとクライアントに寄り添えるためにと通信教育で精神保健福祉士の受験資格を得て、国家試験もストレート合格する事ができました。けれども、その専門学校には愛着がもてなかったのが、不思議な感じです。

やはり、若い頃のフレッシュな感性というのは、何でしょう？人生経験が浅いからこそその素直さは純粋さなのでしょうか？

不思議な御縁のつながりで、何かに導かれるかのように花園大学の学生となれた事。そして福祉の世界へと広がっていった事・・・。1つひとつの事が自分独りでは完結することがなく、人との御縁・つながり・・・すべて感謝の気持ちでいっぱいです。最近保育士の国家試験も合格し資格取得しました。頑張っています。

平成5年 文学部社会福祉学科 卒業 藤崎 潤子

## 花園大学手話学習会「すみれ」同窓会懇親会報告

2023年10月21日(土)13時～15時、和食・懐石がんこ高瀬川二条苑で懇親会を開催しました。21名の参加者で盛り上がりました。

懇親会会場へ行く途中、都合のつける人たちで花園大学へ行って大きくなった校舎を見てまわりました。ちょうど学園祭で大学手話サークルの手話歌を見ました。その間に懇親会準備をしてくださった人たち、ありがとうございます。

懇親会に集まった皆さんは、久しぶりの顔に誰？という感じでしたが、おどろき、なつかしの連続で楽しい交流ができました。みなさん一人ずつ自己紹介とひとことを述べていただき、気持ちをひとつにできてよかったです。

参加の皆さんから、ひとことや感想をいただきました。

- ・障害者事業所で支援を続けています。
- ・介護事業所でヘルパーなど続けています。
- ・児童生活相談事業に関わっています。
- ・外国の子どもたちに日本語を教えています。手話も一緒にしたいです。
- ・手話しながらスキー、山登り、ハイキング、なつかしいです。
- ・手話と筆談で講義をうけて楽しかったです。
- ・郵便局、農業、いろいろやっていました。手話は久しぶり！
- ・手話は長い間やっていなかったが、久しぶりに手話で話ができよかったです！
- ・障害者支援学校で仕事をしていました。
- ・これから手話の可能性大きくなるね！楽しみです。
- ・社協やNPOなどで活動しています。手話も一緒にしたい。
- ・短い時間では到底語りつくせませんが、すみれは私のオアシスでした。
- ・学生の時の様に、いい意味での無駄な時間が大人になってなくなって追われるような生活になっていますが、今日のひときは楽しい時間となりました。次回楽しみにしています。
- ・大学時代はいくつかの自分の糧となる出会いがあって、すみれもその一つだったと確かめた日になりました。
- ・定年まで勤めていた法人の生活介護分野で二人の花大卒業生が主任として現場をしきってくださっています。花大卒の優しい、人を大切にする雰囲気は共通やなど改めて思いました。
- ・40数年過ぎてからの再会でしたが、皆さんのお人柄が暖かくて正直言って私の事を覚えていて下さった方がいたのには私は恥ずかしながら真っ白でした。が、気さくな人柄に触れられて時間の壁がスーッと消えた感じがしました。今度は二次会に参加したいです。

- ・久しぶりにすみれの皆さんに会えて嬉しかったです。今年もどうぞよろしくお願いします。
- ・楽しいひとときをありがとうございました。昔の面影がしっかり残っているかたやら、はて？どなたさん？という方でいはったけどほんまに楽しかったです。
- ・次回またお会いできる日を楽しみにしています。企画をよろしくお願いします。



懇親会の様子



今年2024年秋の大学祭後に同窓会開催を考えています。

花大手話学習会すみれ同窓会 LINE  
<https://line.me/R/ti/g/smu64Y0ZHx>

報告者 大江卓司 (1976年入学)

# 部活紹介

## ラグビー部

ラグビー部は関西大学Bリーグに所属しており、少ない部員数ではありますが上位進出を目標にしています。過去に数回Aリーグとの入れ替え戦にも挑戦しましたが勝利をつかむことが出来ず、現在はBリーグの下位にいる状況です。



今年の秋季リーグ戦では慣れないポジションにつく選手もいたため、ミスが目立ち思うような攻撃が出来ない試合展開となり、敗戦が続く苦しい結果となってしまいました。そして、1次リーグは1勝4敗の5位通過となり、下部リーグとの入れ替え戦の順位決定戦に回ることになりました。順位決定戦でも1次リーグでの課題が修正出来ておらず、同じような試合展開となり、1勝1敗で下部リーグチームの4位チームを相手に入れ替え戦を行うことになりました。この入れ替え戦ではミスが少なく、いい攻撃ができたこともあり、大差で勝利することが出来ました。

次年度は若干部員数が増えるものの、他大学に比べるとまだまだ少人数のため、怪我の無いように上位を目指してしっかり調整していきたいと思います。

## 硬式野球部

硬式野球部は3月から川崎監督、4月には境田副部長を迎え、大学内の指導者は奥本助監督を含めた3名体制で春季リーグをスタートしました。

3月にはこれまでコロナで実施できなかったキャンプを3年ぶりに実施し、集中的に力をつけることが出来ました。4月には新入生32名を迎えました。春季リーグ戦は全10試合を戦い8勝2敗でリーグ優勝を成し遂げることができました。

大学野球選手権では、前号に報告のとおりです。東京ドームで大阪商業大学と対戦しましたが悔しい結果となりました。

春の新人戦を優勝し秋季リーグに向けてミニキャンプや社会人チームとの試合などで経験を積みましたが、秋季リーグ戦中盤で、体調不良者が続出し、びわこ成蹊スポーツ大学に勝ち点を落としました。それでも残りの節を勝利し、佛教大学との1戦目に勝利し、2回戦が優勝決定戦となりました。2点先取したものの一歩及ばず5対2で敗戦、7勝4敗で勝ち点3、リーグ2位となりました。

秋季リーグ個人表彰は、敢闘賞を奥田貫太（投手・4回生八幡商業高）、ベストナインを永倉暖也（捕手・1回生京都成章高）が獲得しました。

11月に行われた新人戦は、決勝戦で佛教大学に勝利し春秋連続で優勝することが出来ました。

春に大学野球選手権を経験したことは、大きな経験となりました。安定した投手力の維持と打撃の向上、個人の能力をさらに上げるために、重点的に体幹トレーニングに取り組み、また「栄養セミナー」を通して効果的な食事の摂り方を学び、春季リーグ連覇に向けた準備を進めています。

もちろん、単位取得も頑張ります。全国大会を経験して、皆様の熱い応援が大きな力になることを痛感しました。今後とも応援よろしくお願いたします。





## 新体操部

新体操部は、今年で創部33年目を迎えることができました。

2023年度も皆様のご支援のおかげで無事に活動を行うことができました。

今年度は、男女共に8月に行われた全日本学生新体操選手権大会に出場をすることができました。ミスもあり良い成績ではありませんでしたが、チームにとって「何が足りないのか」「何をすべきなのか」という他者と比較して様々な課題を見つけることができ成長のできる大会となりました。

9月に行われた全日本クラブ選手権大会では、4回生尾上達哉が、個人種目別スティック、リング、ロープ、クラブそれぞれ1位を取り総合優勝という成績を残し、京都市市長から「京都市スポーツ賞」を受賞されました。

また、12月に学内で行われている定期発表会では、400名程の観客が来場していただき充実した発表会になりました。

本当にいつもご支援ご協力で良き環境で活動ができています。2024年度は男女共に全日本選手権大会に出場、そして優勝を目指し部員一同精進してまいりますので今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## 剣道部

剣道部は4回生7名、3回生6名、2回生6名、1回生6名の計25名で活動しています。他校の強豪校に比べて部員数は劣りますが、少数精鋭で日々の稽古に励んでいます。本年の目標も全日本学生剣道優勝大会への出場、男女共に出場できるよう努めていきます。

昨年度は、2019年度から始まったコロナウイルスも収束していき、他府県への遠征や合宿、他校との練習試合が可能になりました。春には岐阜へ、夏には福井、東京など様々な地で全国の強豪校と稽古することができました。その結果、京滋大会では男女団体共に3位、京滋新人大会では男子団体3位、関西大会の個人戦では男子が1名上位入賞し、全日本学生剣道優勝大会へ出場しました。関西大会の団体戦では、男女共にあと一步のところまで敗れ、全国大会への切符を目前で逃してしまいました。しかし、その瞬間から全員が来年こそはという強い意気込みを持ち、その後の稽古に励みました。

4月には関西個人、5月には西日本大会、6月には京滋大会と新年度から大きな大会が続きますが、どの大会でも上位入賞を狙えるよう、より一層チーム一丸となり大会に挑んでいきたいと思えます。今後も剣道のみならず、勉強、礼儀にも力を入れ、全日本学生剣道優勝大会を目指して精進していきます。皆様の応援をよろしくお願い致します。



### 令和5年度「京都市スポーツ賞」大賞を受賞

2023年12月26日(火)、立命館大学朱雀キャンパスにて、令和5年度「京都市スポーツの殿堂」及び「京都市スポーツ賞」の表彰式が開催され、本学より杉本瑞夏さん(児童福祉学科4回生)と尾上達哉さん(日本文学科4回生)が大賞を受賞しました。

杉本 瑞夏さん(左)

競技：トライアスロン

大会名：ワールドトライアスロン  
エイジグループ世界選手権  
(2023/ポンテベドラ)

成績：女子20-24歳 第2位

尾上 達哉さん(右)

競技：新体操(男子)

大会名：第8回全日本男子新体操  
クラブ選手権大会

成績：個人総合 優勝



ホームページ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムでも大学の情報を発信しております。



花園大学同窓会  
ホームページ



花園大学  
公式ホームページ



花園大学 同窓会通信 108号 2024.3 発行

〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1

同窓会事務局

電話 (075) 279-3630 (直)

F A X (075) 823-2412 (直)

E-mail [dousou-h@hanazono.ac.jp](mailto:dousou-h@hanazono.ac.jp)